

議会だより

題字は、駄知小学校6年生 堀こさとさんの作品です。



Contents

- 第4回定例会報告 2ページ
- 委員会報告..... 4ページ
- 一般質問..... 8ページ
- 編集後記..... 16ページ

岐阜県立東濃特別支援学校の体育的行事

学部ごとで実施し、児童生徒一人一人が練習の成果を発揮することができました。

- (左上) 小学部：きらりんピック
- (右上) 中学部：スポーツフェスティバル
- (下段) 高等部：スポーツ大会
- (左下) ポートボール
- (右下) ボッチャ

令和7年

第4回定例会報告

第4回定例会には次のとおり議案が上程されました。なお、今定例会では全ての議案が全会一致で可決等されました。

【全会一致で可決等された議案】

議案番号	議案名
	議案の主な内容
議第52号	令和7年度土岐市一般会計補正予算（第4号）
	補正額441万8千円
議第53号	土岐市職員の育児休業等に関する条例及び土岐市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
	地方公務員の育児休業等に関する法律等の一部改正に伴い、より柔軟に部分休業を取得できるよう部分休業の取得方法が見直されたため、所要の改正をするもの。
議第54号	土岐市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例について
	地方公共団体情報システムの標準化に伴い、住登外者宛名番号管理機能が実装されるため、所要の改正をするもの。（住登外者…土岐市の住民基本台帳に記録されていない者）
議第55号	地方自治法等の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例について
	地方自治法等の一部改正に伴い、条ずれが生じたため、所要の改正をするもの。
議第56号	土岐市議会議員及び土岐市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例について
	公職選挙法施行令の一部改正に伴い、土岐市議会議員及び土岐市長の選挙における選挙公営の単価を引き上げるため、所要の改正をするもの。
議第57号	土岐市温泉活用型健康増進施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
	土岐市温泉活用型健康増進施設パーデンプark SOGIの利用料金の額を改定するため、所要の改正をするもの。
議第58号	土岐市立児童館の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例について
	児童館、ウエルフェア土岐内の西部児童センター及び西部老人福祉センター並びに老人福祉センター白寿苑を使用できる者の範囲を拡大するため、所要の改正をするもの。
議第59号	土岐市認定こども園条例及び土岐市立幼稚園条例の一部を改正する条例について
	土岐市立みなみこども園と土岐市立駄知小学校附属幼稚園を統合し、土岐市立駄知こども園を設置するため、所要の改正をするもの。
議第60号	土岐市水道事業給水条例等の一部を改正する条例について
	災害その他非常の場合に、他の市町村の指定を受けた事業者等による給水装置工事等を実施することができるようにするため、所要の改正をするもの。
議第61号	東濃中部病院事務組合の共同処理する事務の変更及びこれに伴う東濃中部病院事務組合規約の変更について
	東濃中部病院事務組合が共同処理する事務及び執行機関の組織を変更することについて、議会の議決を求めるもの。

議案番号	議案名
	議案の主な内容
議第62号	土岐市教育委員会委員の任命同意について
	土岐市教育委員会委員に小林久人氏を任命したいので、議会の同意を求めるもの。
議第63号	土岐市教育委員会委員の任命同意について
	土岐市教育委員会委員に林勇気氏を任命したいので、議会の同意を求めるもの。
議第64号	字の区域の変更について
	土岐市妻木南部土地区画整理事業に伴い、字の区域を変更することについて、議会の議決を求めるもの。
議第65号	令和6年度土岐市一般会計決算の認定について
	歳入265億7,453万8,776円 歳出255億2,086万761円
議第66号	令和6年度土岐市国民健康保険特別会計決算の認定について
	歳入51億9,724万285円 歳出50億6,340万1,993円
議第67号	令和6年度土岐市駐車場事業特別会計決算の認定について
	歳入5,882万1,902円 歳出5,697万3,702円
議第68号	令和6年度土岐市介護保険特別会計決算の認定について
	歳入62億1,025万9,006円 歳出59億7,989万4,119円
議第69号	令和6年度土岐市・瑞浪市介護認定審査会特別会計決算の認定について
	歳入3,729万2,651円 歳出3,729万2,651円
議第70号	令和6年度土岐市・瑞浪市障害者総合支援認定審査会特別会計決算の認定について
	歳入461万7,574円 歳出461万7,574円
議第71号	令和6年度土岐市後期高齢者医療特別会計決算の認定について
	歳入10億5,313万2,491円 歳出10億2,171万6,648円
議第72号	令和6年度土岐市病院事業会計決算の認定について
	収益的収入11億4,766万1,944円 資本的収入4億3,017万4,633円 収益的支出12億9,709万414円 資本的支出4億3,505万5,033円
議第73号	令和6年度土岐市水道事業会計決算の認定について
	収益的収入19億3,288万865円 資本的収入 4億4,210万4,128円 収益的支出17億1,352万5,611円 資本的支出10億3,468万8,849円
議第74号	令和6年度土岐市下水道事業会計決算の認定について
	収益的収入17億1,536万9,574円 資本的収入 3億3,379万842円 収益的支出16億2,082万3,935円 資本的支出10億5,801万1円



委員会報告（民生常任委員会）

議第57号 土岐市温泉活用型健康増進施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

質疑 利用料金の改定が利用者に及ぼす影響は。

答弁 金額についてはあくまでも上限額の改正で、この範囲内で協議し決定していくことになる。

質疑 健康増進施設として今後残していくという方針があるか。

答弁 貴重な地域資源であるので、温浴施設としての役割を今後も果たして行けるよう条件整備をさせていただきたい。

議第58号 土岐市立児童館の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例

質疑 施設を使用できる者の範囲を、年齢拡充と市内在住を外すという2点を変更したがその趣旨は。

答弁 児童福祉法上の児童が18歳未満であること、また、市内、市外に限らず利用していただき子育て世代に多くの交流を持っていただくためである。

議第61号 東濃中部病院事務組合の共同処理する事務の変更及びこれに伴う東濃中部病院事務組合の規約の変更

質疑 参事を置くメリットは。

答弁 参事を置くことにより運営開始後の課題や協議事項に速やかに対応していけるようにする。

議第65号 令和6年度土岐市一般会計決算の認定 所管部分

質疑 総務費のまちづくり活動支援事業で、執行率が32%と不用額が大きい理由は。

答弁 宝くじの補助金を活用して支援を行う事業が2件しか採択されず他の申請事業が不採択になり、ほかにも補助金の申請が無い事業があったため不用額が増加した。

質疑 コンビニ交付が前年度の途中から始まり17.2%がコンビニ交付となったが費用等想定と比較して、市の考えは。

答弁 コンビニ交付のみの実際の利用率については29.3%で経費については令和6年度約940万円で経費は賄えていないが、利用率の向上に努めたい。

質疑 民生費の子ども貧困対策事業の対象となる子どもの人数は。

答弁 学習支援事業の参加人数は、令和6年度の参加実人数は7人で、延べ94人である。

質疑 重点事業の病児病後児保育事業の令和6年度事業として新病院の病児病後児保育の当該施設設計ができたところだが、その概要は。

答弁 面積は71.44㎡、病児と病後児を受け入れるので、病児、病後児それぞれの専用部屋と事務室である。新病院敷地内保育所と併設して設計している。

質疑 施設型給付事業の中で、ときつこども園と花園こども園の2園があるが、園児が昨年度より7人減っているのに、事業費は3,700万円増えている理由は。

答弁 施設型給付費も公定価格の影響を受けるので、人件費が増えている。

質疑 多機能型子育て支援拠点施設事業のときめっく利用者数が21,693人だが、前年度比との比較は。また、ファミサポの登録や利用状況への影響は。

答弁 令和5年度の利用者数は22,354人で、微減であるが、ファミサポの会員は388人で前年度比1.2倍、活動件数は令和5年度86件から令和6年度113件へと大幅に増加している。

質疑 衛生費の新型コロナワクチン接種事業だが、接種率などの状況は。

答弁 65才以上の方に1回接種が対象だが、接種率は14.1%で見込みより少なかった。

質疑 し尿収集事業で合併浄化槽の設置が進んでいるのに前年より増えている理由は。

答弁 バキュームカーを1台更新しているため経費が1千万円ほど増えている。

質疑 ごみ処理費について、人口も減ってきてごみも減ってきたと思うが、一般廃棄物の直接搬入が増えた要因は。

答弁 大規模火災が発生したなどの災害廃棄物の搬入が増えたためである。

質疑 火災のごみは一般廃棄物になるのか。産業廃棄物の不燃ごみも494%に増えているが。

答弁 法律上、火災等の災害廃棄物に関して一般廃棄物の扱いとなる。産業廃棄物については公共施設の造成にかかわるものも含めている。

質疑 教育費のきめ細やかな学校支援事業について、昨年度と比べると580万円ほど減額されているがその理由は。

答弁 学校支援員が雇用できなかったことによる減である。

質疑 10月に開所した教育支援センターいこっとの効果は。

答弁 専任の専門家を配置し、相談内容を整理して関係機関に連携を図り支援を行うことで利用者数、相談件数ともに増加し、安心して相談できる機関となっている。

質疑 学校看護師の配置についての詳細は。

答弁 令和4年度から医療的ケア児のガイドラインを作成しており、3名の児童に対して医療的支援を行った。

質疑 部活動地域移行事業について、登録クラブ数と補助金の状況は。

答弁 37団体の地域クラブが登録され、275万2,800円を28団体に10万2,120円ずつ交付し、その内訳は指導者報酬、活動費、備品購入費である。

質疑 電子図書館の利用状況は。

答弁 コンテンツ数が前年度比7.7%増加し、貸し出し数も7.5%増加しており、順調に伸びている状況である。

質疑 移動図書館の運行、運営状況は。

答弁 隔週で公民館等のステーションを回っており、また、土曜日に地域のボランティアと連携し読み聞かせ会を実施している。



土岐市教育支援センター「IKOT・いこっと」



移動図書館

議第66号 令和6年度土岐市国民健康保険特別会計決算の認定

質疑 1人あたりの保険料の前年度比の推移は。

答弁 8月の本算定時の調定額で、令和5年度は9万7,500円、令和6年度が10万3,439円で前年比の6%の増額となっている。

質疑 国民健康保険基金積立金について、計画通りか。

答弁 当初の予算通り取り崩しと繰り入れをしており、余剰金をさらに積立している。

議第68号 令和6年度土岐市介護保険特別会計決算の認定

質疑 令和6年度は保険料改定し保険料を下げたので、取り崩しを多めにするということだったが実際にはそれほど基金が減っていないので、保険料設定をもう少し下げられたのではないのか。

答弁 介護給付費は前年比2%程度増えているが想定範囲内であって、今回設定した保険料で十分まかないきれぬため保険料設定は適正に設定できていると考えている。

議第72号 令和6年度土岐市病院事業会計決算の認定

質疑 入院患者、外来患者共に減少しているが、減少した理由は。

答弁 コロナ禍で減った患者が回復できていない状態が続いているということと、病院自体の整理をしながら新病院の開院に向けているところもあるかと思う。

質疑 正規、非正規の医師、看護師の確保の状況は。

答弁 常勤医師、看護師は微増であり、非常勤医師、看護師はほぼ変わらない状況である。

質疑 駄知診療所の患者数が23.2%減少しているが、その分析は。

答弁 定期的に通っている患者について、状況を見ながら別の病院に紹介をさせていただいているためと思われる。

質疑 営業について、当年度純損失1億4,300万だが、損失が大きく出た大きな理由の分析は。

答弁 コロナ禍では患者は減少したが国の交付金などもありある程度保っていたが、コロナ交付金がなくなり通常の状態になり、患者自体が減少しているため収支としては厳しい状況となったと思われる。

委員会報告（総務常任委員会）

議第64号 字の区域の変更

質疑 地元説明などは無かったか。

答弁 地元で検討委員会を立ち上げてアンケート調査をした結果、妻木町のままで字の変更を行うというご意見が多数派であったことを踏まえて、字界を今回整備した道路に合わせて変更する。

議第65号 令和6年度土岐市一般会計決算の認定 所管部分

質疑 総務費の情報公開・個人情報保護審査会について、令和6年度の件数は。

答弁 令和6年度については情報公開請求が1件あり、審査会は3回開催した。

質疑 公用車管理事業について、公用車の台数と管理の内容は。

答弁 管財課で管理している集中管理車については15台であり、管理、車検、修繕、燃料費等にかかる経費は417万5千円である。

質疑 駅周辺街づくり基本構想の内容、実績は。

答弁 市民や有識者の意見をもとに、まちなか居住だけではなく駅周辺に必要な要素や取り組みが求められていくのかをまとめたものが基本構想である。

質疑 ふるさと応援寄附金について返礼品に使った金額と中間業者に使った金額は。その差引が土岐市の収入となるか。

答弁 返礼品代として、1億7,681万453円。ポータルサイトの委託料が5,155万7,798円となるが、あくまでも寄付額に対して募集にかけられる経費は5割以下というルールがある。

質疑 市制70周年記念事業で補助金を交付した市民団体4件の具体的な団体名と活動内容は。

答弁 土岐高山戦国武将隊、美濃焼おかみ塾、土岐ロータリークラブ、土岐アマチュア無線有志の会の4件で、70周年を祝うイベント、催しを行って頂いている。

質疑 安全監視委員会費について、令和4年度に重水素実験が終わっているが委員会はいつまで続けるのか。

答弁 重水素実験はしていないが装置自体はあり、地元の安心安全が大切であり、地元協議会も活動を続けているため、今後の活動は地元と一緒に考えていきたい。

質疑 農林水産業費の森林経営関係事業の危険木伐採事業費補助金の令和6年度見込みと実績は。

答弁 当初予算は1件50万円程度で10件を想定していたが、実績としては14件処理した。

- 質疑** 商工費の美濃焼のブランド力向上事業で動画を作ったとあるが、動画再生数は938回で美濃焼事業のブランド力を上げるのにつながったとしているのか。
- 答弁** 昨年度末に完成しているので、これから積極的な活用をしていきたい。
- 質疑** 土岐市販売戦略等チャレンジ協議会負担金や、美濃焼 PR 委員会など販路開拓への補助金額は適正と考えているか。
- 答弁** 補助金の実績報告等を確認し、適正であると認め支出している。
- 質疑** 陶磁器試験場費の技術相談・支援業務の中で、一般技術相談・指導が363件、依頼業務の実施が7,230件あるが、相談の内容と効果は。
- 答弁** 相談の内容は焼きあがった製品の破損、不具合の原因解析などであり、それを踏まえての依頼業務を受ける場合もあるので効果はあると考えている。
- 質疑** 泉北部リクリエーションゾーン整備事業(線越)で設計業務など減額したということだったが、その詳細は。
- 答弁** 令和5年度の設計業務の当初契約は5,060万円を1,876万6千円に変更契約し、差額は不用額として剰余金で処理している。
- 質疑** 土木費の笠神公園施設改修工事の内容と効果は。
- 答弁** 長寿命化計画に基づく改修工事で国庫補助を受けてブランコと鉄棒を更新した。
- 質疑** 消防費の消防活動事業について、5年度より444万6千円増えた理由は。
- 答弁** 自動心臓マッサージシステム、救命索発射銃を購入している。
- 質疑** 教育費の文化財保存活用拠点(仮称)整備事業に旧肥田小学校附属幼稚園整備工事とあるが、科目と内容は正しいか。
- 答弁** 美濃陶磁歴史館の建て替えに伴い、収蔵品を一時的に仮保管するために幼稚園から倉庫への用途変更するための工事であるため、文化財保存活用拠点(仮称)整備事業で支出している。
- 質疑** 美濃陶磁歴史館費の講座、ワークショップ、歴史民俗資料等展示業務委託等実績についてどのように評価しているのか。
- 答弁** 定員に対してほぼ満員であったり定員以上の申し込みをしていただいたりで大変盛況であったという認識で、今後も満員の際は定員を増やすなど対応したい。



議第73号 令和6年度土岐市水道事業会計決算の認定

- 質疑** 営業損失の原因は。
- 答弁** 有収率の低下によるものと思われる。
- 質疑** 有収率の悪化の解消は。
- 答弁** 年々改修はしているが、管を一律に更新するのではなく部分的に補修しているので追いつかない。今後検討していきたい。

議第74号 令和6年度土岐市下水道事業会計決算の認定

- 質疑** 剰余金が前年度の約11倍の利益が出ているがその理由は。
- 答弁** 浄化センターの機器更新について、分解整備を予定していたが、機材の延命措置ができることが判明したため除却処分の量を減らし、利益が上がった。
- 質疑** マンホールトイレの設置について、令和6年度何基設置され、震災時に下水管や処理場が被害を受けた時に使えるか。
- 答弁** 2校14基を設置し、直下型地震で全く下水が使えない日から3日間、タンク状のものに貯めてしのぐ。

一般質問

9月議会では15名の議員が市政に対して一般質問を行いました。

議会だよりでは、一般質問の要旨を各議員の文責において掲載しております。

また、土岐市ホームページでは、インターネットによる議会映像の配信や定例会・臨時会の会議録を掲載しておりますので、ぜひアクセスしてご覧ください。

一般質問へのアクセス方法

【動画の視聴】

土岐市役所ホームページ

⇒

土岐市議会

⇒

議会ライブ中継



[動画ページ]

【会議録の検索】

土岐市役所ホームページ

⇒

土岐市議会

⇒

議会会議録検索



[会議録ページ]

《第4回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案

◆人を惹きつけるまちづくりについて
問人を惹きつけるまちづくりを進めるためには、駅周辺に魅力ある働き場所が必要ではないか
答若い世代の市外流出が課題として上げられており、市内で魅力ある働き場所を提供することが重要です。

◆土岐市駅周辺の未来像について
問駅前の活性化の一つとして続いた商店街の祇園祭りもなくなり、少子高齢化社会を迎え店を廃業し、シャッター街となって寂れていく今のまちへの市長の思いを伺います。
答議員と多分同じ景色を眺めてきた一人だというふうに思っています。JR土岐市駅から南へ延びます中央通りにはたくさんのお店が立ち並んでおり、市民が行き交い、活気ある景色がございました。祇園祭りや飾り物といったようなイベントも繰り広げられ、にぎやかであった駅前商店街がシャッター街となり、かつての店舗が空き地となっている状況について、私も大変重く受け止めております。



山内 健

またなか居住を促進するために、駅周辺の魅力を向上させることが不可欠で、その中でも魅力的な職場環境の確保は非常に重要と考えています。具体的には、子育て中の母親が安心して働ける環境の整備やリモートワークなど、時代のニーズに応じた柔軟な働き方を可能とする仕組みづくりが必要です。

問新博物館整備が駅周辺まちづくりにもたらす効果をどのように考えているのか
答新博物館及びその周辺整備によってこのエリアの注目度が高まり市内外からの来訪者が増加することが期待されます。その結果、市の魅力向上や駅周辺の活性化が予想され、駅から新博物館周辺へのアクセス改善や来訪者を地域内に誘導する政策などを検討しながら、まちづくりにつなげていきます。

問まちづくりを進めていくうえで官民連携で取り組む必要があると思うが
答駅周辺のまちづくりは、行政主導だけで実現できるものではないと考えており市が主体となる事業に加え、民間企業による事業、NPO法人や市民による活動など関係者が認識や取り組み方針を共有し相互に連携・協調することで相乗効果を生み出すことが重要です。



西尾 隆久

◆土地の利活用について

問本市への移住者の推移、分析は

答令和4年度256人、5年度222人、6年度220人。移住者の年齢層は30代が最も多く、次いで以下で、30代以下の世帯が全体の84・4%です。要因の1位が土地・建物の価格が安い、2位が子育て環境がよい、3位が自然環境がよい、4位が通勤・通学・日常生活に便利である。

問空き家バンクの現状について

答登録件数は、8月末現在で11件。

問空き家バンクの契約状況は

答これまで32件の契約が成立し、移住・定住が15件、事業用等の契約は17件。

問空き地の契約について

答土地のみの契約は8件。

問土地に関しての名称、空き家バンクとは区別する対応は出来ないのか

答現在の登録物件の一覧では、空き家と土地のみの登録が混在した一覧となっており、活用したい方が見やすいように、今後は土地のみの物件

は分けて掲載するように改善していきたいと思っています。

問市有地の売却物件について

答現在の物件数は、今年度一般競争入札による売却予定物件が4件で、昨年度以前に入札にかけたものの売れ残っており、現在、先着順で購入可能な物件が3件。

問売却物件とする前の交渉・相談について

答土岐市普通財産の土地の売り払いに関する要綱に基づいて実施しており、原則は不動産鑑定評価額とし、売り払い金額について事前の交渉は受け付けていない。

◆暑さ・熱中症対策について

問クーリングシエルターの周知、浸透について

答令和7年9月1日現在で合計41か所を設置して広報誌やホームページを通じて案内し、周知を図ってきたが、浸透の状況は把握できていない。

問児童・生徒の登下校時の熱中症対策にクーリングシエルターの場所の設置をこども100番の家を含め増設をできないのか

答下校時の子どもたちの暑さ対策の一助となるように、こども100番の家の皆様へのご協力をいただくなど、教育委員会と連携をしながら進めていきたいと考えております。

《第4回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



安藤 勝彦

◆新博物館建設について

問市長による市民説明会は、このタイミングで良かったと思われたのか

答もっと早い段階で市民説明会を開催すべきであったのではないかとという指摘だと思うが、これまでも議会を通じて市民の皆さんにも随時情報共有を行ってきたことから、説明会までは考えていなかった。

附帯決議を受け説明会を行ったが、タイミングという事であれば、良かったと個人的には思っている。

問説明会では前向きな質問や否定的な質問、中には質問というよりヤジが飛び場面もあり、これが新博物館建設に対する市民の方の思いだという事を実感したと同時に、一議員として、議会として審議、審査をしてきた結果は市民の方の声をしっかりと反映できていなかったと痛感した。

市長は市民の反応をどう思われたか。
答沢山の方に賛同して頂ける博物館とするために参考にさせて頂いた。報告会を通じて特に感じたことは無いが、市民の皆様へ、さらに情報を

発信する必要があるという点はある。

◆質疑応答の疑問と回答について

問年間の維持費について、新博物館を運営していくのに必要な経費は毎年どれだけかかるのか。

答光熱費及び建物管理に関する費用は年間、約3400万円。借地料の245万円を加えると3645万円。美濃陶磁歴史館の令和4年度の実績は、人件費と委託料で約2900万円。新博物館では、これまで美濃陶磁歴史館で行ってきた業務に加え、旧文化会館で行ってきた文化財の調査業務も新博物館で行うことから、文化財調査に要する経費、約2700万円を加えて、年間約9245万円程度となり、文化振興課の職員6名分を加算すると合計で1億3945万円となりますが、既に費用化しているコストなので、実際に増える経費は約2845万円です。

問説明会を経て計画に変更はあるか。
答企画展示内容へのご意見をたくさん頂戴しており、魅力ある展示が出来るようスペースの使い方を見直し始めた。

問変更点が決まった場合には再度市民説明会を行う意思はございますか。
答内容的に大きく変更するものではないので説明会という考えはないが、皆さんに周知できるように情報提供はしていきたい。



伊藤 公男

◆本市における資源の循環型社会に向けた取り組みについて

問 東濃西部ごみ焼却施設の建設に向け、本市は今後焼却業務がなくなる方向へ向かうと思われるが、今後の本市として展開していきたい構想はあるか。

答 令和8年度からの新たな土岐市一般廃棄物処理基本計画策定のための協議を進めている。次期計画策定に際し、特に注力して推進を予定する点が2点あります。

1 点目はプラスチックごみの資源化です。廃棄物削減はもとより、環境負荷の低減、循環型社会の形成を目標としたプラスチック資源の分別収集が実施出来るよう検討していきます。

2 点目が、環境問題への意識の醸成です。リユースやリサイクルの重要性を理解していただけるよう、次世代を担う子供たちを対象とした学習機会の提供や啓発イベントを積極的に実施し、意識を高めるきっかけとしたいと考えている。

問 今後さらに進む高齢化社会において、使用済み紙おむつのリサイクルについては。

答 リサイクルが進めばCO₂の排出削減、循環型社会の構築に寄与すると考えられる。公衆衛生上の課題、効率的に分別する技術の課題があるが、重大な課題として引き続き研究に努めたい。

問 毎月の資源回収日にペットボトルのキャップも同時回収出来ないか。

答 キャップについては地球温暖化防止、障がいのある方の雇用創出を目的にエコキャップ運動として回収運動を推進している。

次期計画策定の際、特に推進したい点について述べたとおり、今後プラスチック資源の再商品化に向けた取り組みとして検討をし、実施したいと考えている。



《第4回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



塚本 俊一

◆市民の終活について

問 市内の令和2年以降の65才以上の高齢者の実態は

答 令和2年7月末に1万8366人であった高齢者人口は、令和7年7月末には、1万7711人と655人減少し、今後も減少する見込みである。65歳以上の高齢化率は、年々増加しており、令和2年7月末に31.9%であったものが令和7年7月末には、33.0%まで増加しており、今後も増加する見込みである。高齢化率は、全国平均を上回って推移している。令和2年のデータですが、独居高齢者数は、2597世帯で全世帯の12.2%となっており、高齢者人口は年々減少しているが独居高齢者高齢者夫婦世帯数は、増加している。

問 土岐市の終活支援はどのようにしているか

答 マイエンディングノートに加え岐阜県医師会が作成した「これからノート」の2冊を活用しています。

問 大和市終活支援条例について

答 個々の事例に応じて柔軟な対応をしていくので、現在のところ条例の作成の必要を考えていない。

◆出産費用について

問 出産育児一時金50万円以上に要した出産費用を、上限を決めて助成しはどうか

答 本市としては、別の視点から家庭や子育て環境への支援を検討するほうが合理的であると考えています。

問 妊産婦の医療費無償化を考えてはどうか

答 今後の国の動向を注視しながら進めていきたいと考えております。

◆災害用井戸について

問 土岐市において災害用井戸を指定して、災害対応しているか

答 井戸所有者のプライバシーへの懸念、事故発生時の責任の所在等々対応が難しいが地域の実情、住民の皆様のご意見を踏まえ、災害対応の取り組みを進めていきたい。

◆電気火災対策について

問 感震ブレーカー設置について補助金をつけてはどうか

答 補助制度の導入は、現在予定していない。

◆奨学金返還支援について

問 土岐市で暮らす若者を対象に、奨学金の返還を市が支援しては

答 現時点で本市がすぐに制度を導入することは、困難と考えます。



北谷 峰二

◆地球温暖化対策実行計画について

問本市の取組の現状はどうか。

答令和7年度～9年度迄の3年間82の市有施設で照明設備のLED化を、来年4月開園予定の駄知こども園に太陽光発電設備を設置する予定です。再生可能エネルギーの積極的な導入については、市民の導入を促進するため補助制度を設けている。脱炭素型事業活動の普及は、陶磁器試験場がサポートし焼成時間の短縮に成功して燃料消費削減につながった事業者がいる。年内に（仮称）地球温暖化対策実行計画実行会議を立上げ計画の達成状況や取組の進捗状況等を検証していく予定です。

問今後、市役所本庁舎、新病院東濃中部医療センターに発電設備を設置する計画はないのか。

答市役所本庁舎は今のところ計画はない。東濃中部医療センターの新病院一部事務組合からは、検討したが予算上の課題もあり設置に至らなかったと聞いている。（市長）部長が計画はないと言った

ことを私が計画しますと言えない。現状では部長の答弁の通りだが、技術革新の動向等も踏まえ検討していきたいと思っている。

◆防災庁について

問岐阜県知事が県へ誘致発言をされた。本市が県内最有力地として積極的に誘致活動をするべきではないかと提案する。

答県内に設置された場合、雇用創出人口増加による経済活動の活性化、地域住民の防災意識向上、防災に関する国や県と連携強化等地域への波及効果等が期待されるが、県の担当課は、国は防災庁の設置場所の選定基準や必要な機能等を明確にしていなかったため国の今後の動向を見守っているとのことだった。市としても県と同様、国の今後の動向を見守りつつ必要に応じ、県に対し積極的な誘致活動を行いたいと考えている。



《第4回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



安藤 学

◆公共交通について

問東濃地域自動運転推進事業とは。

答東濃地域自動運転推進コンソーシアムが、国土交通省の地域公共交通確保維持改善事業費補助金に採択されたもので、運転手不足の解消、公共交通の維持、高齢者の移動手段の確保という喫緊の地域課題に対応することを目的としている。

問自動運転バスのスケジュールは。

答令和7年9月28日は、市役所敷地内で試乗会の実施。29日から10月11日まで、土岐市駅から市役所間の公道で、レベル2での実証運行を実施。令和8年度以降は、土岐市駅から東濃中部医療センター間で実証実験を開始する予定がある。令和10年からは通年運転を開始できるよう、有償運転による経営の継続可能性も模索していく。

◆ふるさと納税について

問令和6年度のふるさと応援寄附金の実績は。

答6億2936万4312円、2万7232件で、そのうち76・81%が

雑貨・日用品となっている。

問美濃伝統工芸士の専用コーナーを作り、しっかりと広報活動を行うことによって、安土桃山陶の文化を知らしめて、ふるさと納税の寄附につなげてはどうですか。

答新博物館の使命と機能ということで、美濃桃山陶をはじめとする美濃焼1400年の歴史文化を発信するという博物館基盤機能にも寄与することであるので取り組んでまいりたいと考えている。

●ふるさと納税は自主財源であり、納税額が増えれば寄附活用金額も増えてくる。また博物館開設の成功を祈る為にも、事前にふるさと納税のほうで、安土桃山陶の文化を市民や納税者、日本の陶芸・陶器等が好きな人に対して告知をしていただくとより効果が上がらと思う。





○ 水野 哲男 ○

◆防災月間によせて

9月は防災の月であり、全国各地で防災訓練や啓発活動が行われ、市民の防災意識を高める機会となっています。この時期にこそ今一度本市の防災体制を総点検し、災害に強いまちづくりについて考えていくことが重要であると考え、今回の質問を行います。

問国の防災基本計画の改定を受けて、本市の認識は。

答今回の防災基本計画及び南海トラフ巨大地震の防災対策推進基本計画の改定により、具体的な数値目標が数多く設定されており、物資の備蓄状況、インフラ・ライフライン、避難所の整備状況などを見直す必要があり、関係各課と連携し対応していきたい。

問防災訓練の実施状況は。

答具体的には、避難所開設・運営訓練、災害図上訓練、出前講座などがあり、昨年度の実績は、14の防災訓練などに本市の職員が参加し792名の参加者がありました。本市とし

ては、地域や団体に任せきりにならないよう、伴走型の支援を行ってきたい。

問住宅の耐震化率及び耐震診断・耐震改修の実績と課題について

答耐震診断及び耐震改修の促進を図るために作成した、土岐市耐震改修促進計画で耐震化の対象としているのは、建築基準法の改正がなされた昭和56年6月1日以前の建築物で、最新の耐震化率については速報値として86・2%と推計しました。耐震診断・耐震改修の実績は、木造住宅無料耐震診断が令和4年度・4件、5年度・7件、6年度・17件、耐震補強工事が令和4年度・1件、5年度・1件、6年度・3件です。課題としては、補助制度が有るにもかかわらず利用実績が上がらないことです。

問ラウンドアバウト（環状交差点）導入の考えについて

答信号機の設置を必要としない構造であり、電力の供給が途絶える災害時や停電時にも機能を維持できる利点がありますが、現在のところ設置の予定はありません。しかしながら、メリット、デメリットを考慮して、条件に適合する場所や通行に危険な変則交差点の安全性を高める必要があれば、安全な交差点方式の一つとして検討したい。

《第4回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案

◆食品ロスについて

問岐阜県食品ロス削減推進計画に基づいた本市の普及啓発の現状と、今後の取組みについて

答HPや広報等で啓発している。今年度も10月の食品ロス削減月間に合わせ、広報ときの9月号で啓発し、令和5年度に作成した小冊子「幸せのエンカル消費」を教材に小学4年生が学習し、HPにも掲載している。今後は、子どもや親子を対象に、食品ロスや環境に関する教室を開き、ポータルサイトやSNSを活用した取組事例の情報発信等により、市民が取組めるよう普及啓発に努める。

問小中学校での現状と今後の取組みについて

答社会科では、日本と途上国の食料事情の比較、家庭科では、食材を無駄なく使い切る調理を考えたり、学級活動や給食時間では、食料の生産などに関わる人に感謝の心を持つよう、地元の生産者の方から話を聞いたり、栄養教諭による食の重要性も学んでいる。



○ 水石 玲子 ○

◆投票環境の整備について

問視覚障がい者への投票所入場券に、点字シールを貼り付け郵送する自治体があるが、本市の見解は。

答投票所入場券は、選挙人に対し選挙があることのお知らせと、投票所での本人照合を円滑に行うためのもの。今後は、申し出があった場合個別に対応し取り組んでいく。

問不在者投票の利便性向上のために、マイナポータルオンライン申請サービス「ぴたりサービス」の導入について、本市の見解は。

答県下の状況は、令和7年8月末現在で42市町村のうち、12市町村が導入しており、滞在地の選挙管理委員会では不在者投票する場合の投票用紙の請求方法が、郵便とオンラインで申請できることで、選挙肢を増やすことになる。選挙人の利便性向上の観点から進めていく。



(出典…消費者庁)



大久保一夫

◆外国人との共生に関する施策について

問外国人住民の受け入れと支援体制について

答外国人人口は、令和5年度末が2163人、6年度末が2351人で割合は6年度末で土岐市の人口の4.36%となり年々増加しています。生活支援、言語支援、行政サービスの多言語化については、相談窓口を市民活動課に設置し、英語・フィリピン語に対応ができる外国人相談員を配置し、通訳・翻訳・生活相談を行っています。対応できない言語は、ポケトークや出入国在留管理庁が行う電話通訳支援で対応しています。国籍や文化が異なる人々がお互いを認め合い、地域の方々にご理解、ご協力をいただけるような取り組みを進めて行きたいと考えております。

問防災対策における外国人への周知について

答英語版ハザードマップや、外国人のための生活ガイドブックなど配付し、その中で地震・大雨・台風など

の災害に関する情報とその備えや避難に関することを周知しています。令和8年度に開校予定の日本語学校の事業者の方から連携事業を実施の可能性を提案いただいています。日本語での日常会話が可能で学生が入学することから、日本語の不慣れな市内在住の外国人との橋渡し役になっていただけるものと期待して、連携事業を提案して行きたいと考えております。

問外国人児童・生徒の教育支援について

答日本語指導は、学校生活への適応や学習の基盤となる重要な支援の一つです。外国から直接編入した児童・生徒については編入直後に、保護者、児童・生徒、教育委員会で懇談の場を設け、学校生活や今後の支援について丁寧に説明をしています。日本語がほとんど話せない児童・生徒には約3か月間、日本語初期指導教室にて集中的に日本語指導を実施し、安心して学校生活に移行できるようにしております。

近年、画像確認による日本語変換アプリの活用が進んでおり学校から配付されるプリントなどを保護者がスマートフォンなどを通じて自国語で内容を理解できる環境が整いつつあります。今後も外国人児童・生徒の支援体制の充実を考えております。

《第4回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



渡邊 豪

◆土岐市中長期財政計画について

問中長期財政計画が出された経緯は

答財政の透明化の観点では決算の公開だけでは不十分であり、財政は新病院や新博物館といった大型事業に耐えられるかといった心配の声もあり、今回公開することとした。

問令和9年から3年ほど実質公債費比率が10%を超える原因は

答病院事務組合へ支出する償還期間が短い医療機器の購入に伴う負担金、向こう5年間に影響するため。

問何か新たに定められたことは

答財政調整基金は、標準財政規模の10%、20%を維持すること、実質公債費比率は、原則12%以内にするのと、これらに努めることで、未来の土岐市民にバトンをつないでいくための持続可能な財政運営ができるものと考えている。

◆循環型社会の構築に向けた陶磁器産業のリサイクルについて

問MINOサステナブルセラミックプロジェクトとは

答多治見市が代表で申請者となり、

岐阜県、土岐市、瑞浪市が連携自治体、民間企業が連携事業者として環境省の地域の資源循環促進支援事業の採択を受けている。具体的には、不要食器を収集、粉碎したセルペンを原材料に混ぜて製品化し、新たな食器やタイル、もしくは舗装材などとして再資源化するサイクルをシステムとして設計し確立するプロジェクトである。

問本市はこのプロジェクトにどのような役割を担っているのか

答プロジェクトに賛同する各種企業、団体によるコンソーシアムを組織するために設立した準備委員会に参画して、このプロジェクトの立ち上げを支援していく。最終的には、コンソーシアムが一般社団法人化し自主運営をしていくことを計画している。

●このプロジェクトが軌道に乗ることに大きく期待している。





○ 小関 篤司 ○

◆救急車不出動の件について

問 第三者委員会の報告結果に対する市の受け止めは？

答(消防長) 公正中立、専門的な立場から原因究明と再発防止策の検討をして頂いた。報告書では直ちに救急隊を出動させなければならなかった事案であったが、救急出動の判断に関するマニュアルが不整備だったこと、通信指令員の教育不足などの組織運用の問題が厳しく指摘されたことを真摯に受け止めています。

問 人権意識の不足については？

答 個人の問題も書かれていますですがそこに注目するのではなく、業務を遂行する上での教育、誰が従事してもできる様に整備することをおろそかにしてはいけなと理解しています。

問 教育には人権教育も必要では？

答 人権や公務員倫理も含めて、職員教育に取り組みます。

問 職員の聞き取りで78%がマニュアルが不十分と回答。「土岐市消防の通信は遅れている」と声があるが、これまでなぜ対策されなかったか？

答 ここまで手を打てなかったのは組織の責任と反省している。アンケートにあるが組織で対応出来なかった。

問 過去に副業の問題、パワハラの問題、匿名の投書があり、今回も新聞報道が先行した。報告で人間関係が崩壊とあったが、ガバナンス強化が必要ではないか？

答 過去あったことは事実です。これも含めて、マニュアル等を通じて、職員環境、運用に取り組みます。

● 組織体制、内部コミュニケーション、風通しの良い職場、色々な意見を出せる環境を作って頂きたい。

問 職員体制を含めた再発防止はどのように考えているのか？

答 報告書で職員体制に指摘はありませんでした、市も同様の考えです。現在、全職員には原則出動を徹底し再発防止に取り組んでいます。

問 報告書では救急出動できない体調不良の方が勤務していた。アンケートでは職員増員に14%の声があり、職員体制の不足は明らかでは？

答 まとめて、マニュアルと教育で防げたところあり、限りある職員体制の中で取り組んでまいります。

問 意見や不満を共有できる環境づくりをすべきではないか。意見聴取、アンケート調査を行ってはどうか？

答 そういったことも承って、職場改善に努めていきたいと思っています。

《第4回定例会一般質問》

● 印は議員の意見・提案



○ 小栗 恒雄 ○

◆災害時における医療体制について

問 大震災や水害などにおいて多くの被災者が、長期間避難所生活を余儀なくされることもあります。避難民はもとより、要介護者や妊婦さん、障がいや健康リスクをお持ちの方の医療的な対応が不可欠であります。医療の必要な避難者数の把握について、併せて医療機関との連携及び体制についてご答弁をお願いします。

答 災害時における避難時だとか避難後に、医療的な支援の必要な方の人数を推計いたしております。令和7年6月時点で把握しています災害時での避難行動要支援者の対象者は、166人と推計しています。次に、妊婦さんは、令和7年8月時点で約180人と推計しています。また医療的ケアを必要とする内部機能障がいの方を想定しまして、令和7年4月の時点で身体障がい者手帳1級及び2級をお持ちの方は438人でございます。大規模災害の発生時には広域的に迅速な救急医療活動が行えるように、国の広域災害救急医療情

報システムにより、市内の医療施設の被災状況などの災害医療情報等を県に報告することで、被災状況の共有化を図る体制が整えられています。災害時には、多くの負傷者や体調不良者が発生する可能性を想定しまして、救護所などで被災者に適切な診療や医療を提供できるように、市と土岐医師会、土岐歯科医師会、土岐薬剤師会のそれぞれの会と、災害時における救急、医療救護活動に関する協定及び覚書を締結しており、各会ごとに医療班を編成し、救護所では一般的な診療や治療を想定しております。ただし、透析が必要な方であったり、酸素療法を受けておられる方、心臓ペースメーカーや人工呼吸器を使用されておられる方など、専門的な医療が必要な方もあると思いますので、広域的な対応も想定する必要があります。保健所や医師会の関係機関とは平時から連携をはかっているところがあります。なお、患者様自身に備えていただく事前の対策というものも必要でございまして、日常から患者様自身が、かかりつけ医と被災時の対応についてご相談いただくこととか、ご自身の状態に合わせた補助食品の備蓄、非常用電源装置、お薬の準備など重要でございまして、非常時の備えについて周知と徹底に努めてまいります。



鈴木 正義

◆公務員の職員不足について

問 直近5年の公務員の新卒職員の採用状況と離職状況はどうなっているのか

答 令和2年から令和6年までの直近5年間の実績は、一般事務職では採用人数が24名、離職人数が2名、技術職では採用人数が5名、離職人数が1名、保育職では採用人数が42名、離職人数が7名、消防職では採用人数が10名、離職人数が1名です。

問 離職者の離職理由は

答 大きな要因は、働き方の多様化や転職市場の活性化など転職に対してハードルが低くなったことが理由で、保育職については女性が多く、出産後に子育てと保育業務の両立が難しく子育てに専念したいという理由もあるようです。また、消防職では思っていた仕事と異なっていたことも理由の一つのようです。

問 技術職不足の中、下水道老朽化への対応はどのようになっているのか

答 上下水道は市民生活に密着したライフラインであり、事故や災害時に

可能な限り早期の復旧を目指して対応を行っている。目視やテレビカメラ等で不具合箇所や破損の調査を行い部分修繕や改築更新を実施している。

問 女性消防職員の増員に対する対策は

答 総務省が女性の割合を5%にするという目標を掲げている中、土岐市でも就職説明会などで女性にも働きやすい環境整備を行っていることを説明している。

問 教職員の成り手不足や離職者が増えている中、人員確保やサポートはどのように行っているのか

答 正規教職員が不足する場合は臨時に講師を採用し補充している。また、育児短時間勤務者や部分休業取得者がいる学校には、非常勤講師や学校支援員を配置している。

問 こども園の人員確保やサポートはどのように行っているのか

答 国が定める保育士等配置基準に従い、必要な人員を確保できているが不足する場合は会計年度任用職員を補充している。また、保育業務に専念できるようこども園では会計年度任用職員の事務職員を配置するなど支援を行っている。

《第4回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



木股 英明

◆土岐市ホームページについて

問 AIスタッフ「しつぎおとうふ」に要する費用は幾らですか。

答 月額6万6000円、年額79万2000円です。

問 AIスタッフの利用件数は

答 令和6年度は1万2306件、令和7年度は4月から7月までの4ヶ月4215件。比較参考のために、通常の検索機能の件数は、6年度は3万4801件、7年度は4ヶ月で1万2503件でした。

問 AIスタッフの精度についてどう思われますか。

答 学習機能を持ち合わせてないシステムで、利用された方の7割以上が回答が違くと答えられ、現時点では精度の低いシステムといえます。住民サービス、経費の点から、今年度をもって契約を終了する予定です。

◆情報発信について

問 広報紙、公式ホームページ、メール、LINE、インスタグラム、X、フェイスブック、YouTubeの配布数及びSNS媒体の登録数は。

答 9月1日現在、広報紙は印刷部数1万9000部、自治会を通じた配布が1万7307部、公共施設などへの配布が3箇所、623部。情報提供サービスの登録者数は、メールが6315件、LINEが3392件、フォローワー数は、インスタグラムが2608件、Xが1048件、フェイスブックが699件、YouTubeが2550件となっています。

問 LINEの登録者数を増やすためにお米券やQUOカードなどを配布する施策はいかかでしょうか。

答 現状考えておりません。単に登録者数を増やすことを目標とする施策よりも、情報発信のためのコンテンツを磨き上げることに注力したいと考えているからです。

問 道路緊急ダイヤル#9910とは、道路に異常を見つけた際に通話料無料で通報出来る短縮ダイヤル番号で24時間365日受け付けており、通報を受けると道路管理者に情報を伝達して迅速な対応を促すものですが、令和6年3月29日から、LINEアプリによる通報が可能となりましたが、広く市民に知ってもらうために周知をお願い出来ませんか。

答 国道や県道は#9910を利用していたとき、市道においては、市役所へ電話していただくのがよいと考えています。

クイズ議場へGO を開催しました。



9月28日(日)に開催された「わくわくワークときめきランド」において、土岐市議会は「クイズ議場へGO」を開催しました。子どもたちが議員の席に座り採決ボタンを使って〇×クイズを行うもので、盛況の内に幕を閉じました。



12月定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
11/23	24	25	26	27 本会議 初日 (議案説明)	28	29
30	12/1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15 民生常任委員会	16 総務常任委員会	17	18	19	20
21	22	23 本会議 最終日 (委員長報告 討論・採決等)	24	25	26	27
28	29	30	31			

※午前9時 開会予定(変更の場合あり)

編集後記

朝夕が冷え込む季節となりました。運動会や地域の行事も一段落した折、市民の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

今年の夏は、猛暑日最多の記録を各地で更新し、過去最高に暑かったといわれる夏でした。そんな暑い日もようやく過ぎ去ったと思えば、今年も残すところ一ヶ月あまりとなりました。立冬も過ぎ、これから急に寒くなってくる頃となります。体調管理には十分にお気をつけていただきたいと思います。

さて、先月行われた議会報告会には、多くの方々に参加していただきまして誠にありがとうございました。皆様からいただいたお声やご意見等は、今後の議会活動にいかしてまいりますので、これからもご協力のほどよろしくお願いいたします。(文責：渡邊 豪)

議会だより編集部会

部会長：北谷峰二

副部会長：安藤勝彦

杉浦司美 加藤淳一 鈴木正義 水野哲男 水石玲子 大久保一夫 渡邊豪